広報資料

安全・安心を実感できるまち
～ともにつくる～
枚方寝屋川消防組合

令和６年７月５日
枚方寝屋川消防組合

全国大会出場を目指して！
消防救助隊員が訓練を披露します！

枚方寝屋川消防組合では、令和６年７月３０日（火）に堺市総合防災センターで開催される第５２回消防救助技術近畿地区指導会に向け、消防救助隊員が訓練を重ねてきた成果を披露します。

1　実施日及び実施場所

⑴　水上の部
日時：令和６年７月１２日（金）１０時３０分～１１時３０分
場所：枚方東消防署訓練用プール（枚方市津田北町２－２３－３）

⑵　陸上の部
日時：令和６年７月１９日（金）１０時３０分～１１時３０分
場所：寝屋川消防署訓練施設（寝屋川市池田２－１１－７３）

2　内容

⑴　水上の部
基本泳法、複合検索、溺者搬送、溺者救助、人命救助、水中結索
隊員　１２人

⑵　陸上の部
引揚救助、ロープブリッジ救出、障害突破
隊員　２８人

3　市民の皆さまへ

日頃の訓練成果を、市民の皆さまに披露させていただきます。市民の皆さまの多数のご見学をお待ちしております。

※訓練会場には駐車場はございません。公共交通機関もしくは自転車でお越しください。

【問い合わせ先】
枚方寝屋川消防組合
警防課　TEL 072−852−9919
企画戦略課（広報）　TEL 072−852−9906

訓練種目について

水上の部

基本泳法

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ２５メートルずつ泳ぐ。

水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練です。

複合検索

マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリングを検索して、引き揚げ、水中の行方不明者の検索を想定した訓練です。

溺者搬送

２人１組（要救助者を含む。）で救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアキャリーにより救助する訓練です。

溺者救助

３人１組（要救助者を含む。）で救助者と補助者の２人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して、救助者が２０メートル先の要救助者の位置まで浮環を搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する訓練です。

人命救助

３人１組（要救助者を含む。）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する訓練です。

水中結索

３人１組で水中の結索環に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふた回りふた結び」の三種類のロープを行い、水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練です。

陸上の部

引揚救助

５人１組（要救助者を含む。）で２人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、４人で協力して塔上へ救出後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。

ロープブリッジ救出

４人１組（要救助者を含む。）で２人が水平に展張されたロープ（２０メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練です。

障害突破

５人１組（補助員を含む。）で４人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」、「登る」、「渡る」、「降りる」、「濃煙を通過する」の基本動作により５つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練です。